



<b>令和4年度 基本評価調書①</b>		所管部局	農政部	所管課	食品政策課		
施策名	安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進			施策コード	0603		
政策体系(中項目)	道民生活の安全の確保と安心の向上			政策体系コード	1(5)B		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 地球温暖化対策推進計画					事務事業数	7
SDGs	 			総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 4	50,463	R 3	39,900	R 2	51,146	

施策目標	食の安全・安心の確保に関する各種施策を総合的に進め、農業生産段階における有効なリスク管理の手法であるGAPの導入を進める。また、農林水産業や農山漁村に対する理解の促進や食育の推進を図る。	
現状と課題	国際化の進展などを踏まえ、フードチェーン全体を通じ、国際的にも通用する食の安全・安心の確保が一層必要となっている。	
前年度二次評価意見		対応状況 (R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	食の安全・安心条例に基づく「北海道食の安全・安心委員会」を設置し、道内の主要な産地におけるGAP実践拡大に向けた普及啓発や指導、道産食品独自認証制度の整備やPRを実施していく。食育については、食育推進検討委員会の開催や優れた担い手の表彰などを実施する。また、食品ロス対策会議を開催して食品ロスの啓発活動などを実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際水準GAPを実践する農業者の増加に向けて、指導員の育成による指導體制の充実・強化、農業者への指導・普及啓発の実施及び農業教育機関等の認証取得を支援</li> <li>[国際水準GAPの認証農場数(累計)R元年度:289農場、R2年度:339農場、R3年度:316農場]</li> <li>[道産食品独自認証制度の認証品数(R2.3)48商品、(R3.3)38商品、(R4.3)37商品]</li> <li>食品ロス削減月間(10月)に合わせてパネル展を開催したほか、出前講座や食べきりキャンペーン、オンラインクッキングレッスンを開催し、食品ロス削減に向けた理解醸成を促進。</li> </ul>

連携状況	条例に基づき策定している「第4次北海道食の安全・安心計画」に即した食の安全・安心に関する情報提供などの取組を推進。関係部局で構成する「北海道食の安全・安心推進本部」を通じ、関係各部・局・課が連携しそれぞれの部・局・課が所管する施策の推進に必要な取組を実施。また、効果の確認のため、計画に定める指標の達成状況等を聞き取り、それぞれの達成状況の分析を依頼、「北海道食の安全・安心委員会」で報告を行っている。
緊急性優先性	令和元年に実施した条例の点検・検証に関連し、道民のゲノム編集技術を利用した食品への不安を踏まえ「北海道食の安全・安心委員会」から付帯意見として付された食の安全・安心に関連する「GM食品」の表示範囲の拡充や、ゲノム編集技術を活用した作物の表示に関して、国に要請するなど、食の安全・安心に関わる国への要請等を行っている。

<b>令和4年度 基本評価調書②</b>	<b>施策名</b>	安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進	<b>施策コード</b>	0603
----------------------	------------	---------------------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
北海道HACCP自主衛生管理認証施設数		目標値	—	—	330	450	108.8%	A
		実績値	—	—	359			

**設定理由** 北海道総合計画における政策の方向性「豊かな食生活を実現する食の安全・安心の確保」の観点から、保健福祉部と共有する指標として設定。

**分析（主な取組と成果）**

条例に基づき策定している「第4次北海道食の安全・安心計画」に即した取組を推進。関係部局で構成する「北海道食の安全・安心推進本部」を通じ、関係各部・局・課が連携しそれぞれ効果的な取組を推進。また、効果の確認のため、計画に定める指標の達成状況等を聞き取り、それぞれの達成状況の分析を依頼、「北海道食の安全・安心委員会」で報告を行うことで、順調に推移している。

指標名②	増加	市町村	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
食育推進計画作成市町村数（累計）		目標値	126	139	152	179	87.5%	C
		実績値	125	132	133			

**設定理由** 食育基本法に基づく市町村食育推進計画を策定した市町村数を、食育を推進する取組の進捗状況を測る指標として設定。

**分析（主な取組と成果）**

北海道食育推進計画の指標となっており、各振興局を通じ市町村の状況を把握し、作成手引き等の情報提供などにより、令和3年度はわずかではあるが増加している。今後、作成が遅れている地域へは重点的に対応していく。

指標名③	増加		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
国際水準GAPの認証農場数（累計）		目標値	260	286	312	390	101.3%	A
		実績値	289	339	316			

**設定理由** SDGsの目標の一つである持続可能な農業生産を進めるため、農業生産段階における食品の安全性の確保のほか、環境保全や労働安全等を確保する有効な手段である国際水準GAPの導入状況を測る指標として設定。

**分析（主な取組と成果）**

第4次北海道食の安全・安心基本計画の指標となっており、研修会の開催に伴う指導員の育成やモデル事例の取組を通じた指導技術の向上による指導体制の充実・強化などにより、GAP認証を取得した農場数は目標値を上回っている。

**【総合判定】**

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
------	---	--------	---	------	---	------	------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	市町村の食育推進計画策定については、各振興局を通じ市町村の状況を把握するとともに、作成手引き等の情報提供などにより作成が遅れている地域へは重点的に対応していく。また、国際水準GAPの認証農場数増加に向けて、引き続き指導員の育成や指導技術の向上による指導体制の充実・強化に努めていく。
	②	
	③	

<b>令和4年度 事務事業評価調査</b>	施策名	安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進	施策コード	0603
-----------------------	-----	---------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0302		一般	国際水準GAP実践拡大事業費	・農業の持続可能性を高める国際水準GAPの実践を拡大するため、農業者向け研修会の開催や指導者の育成等による指導体制の充実・強化、農業教育機関等の認証取得への支援	食品政策課		30,887	0	2.0	1.0	3.0	54,239			
0303		一般	どさんこ食育推進事業費	・第4次北海道食育推進計画の効果的な推進に向け、高齢者をはじめとする道民への普及啓発、食に関わる関係者のネットワーク強化、食品ロスの削減を推進	食品政策課		16,583	1,510	2.0	1.7	3.7	45,384	①	改善(指標分析)	
0312		一般	食の安全・安心条例推進費	・北海道食の安全・安心条例に基づき、消費者や生産者などで構成する「食の安全・安心委員会」を設置し、幅広い道民の意見を施策に反映し、食の安全・安心の確保に関する取組を積極的に推進	食品政策課		2,463	2,463	1.5	1.0	2.5	21,923			
0313		一般	道産食品全国モニター運営費	・日常の買い物等を通して道産食品の表示をチェックする表示モニターを全国に配置し、一般の消費者に信頼される道産食品の生産、流通と北海道ブランドの向上を推進	食品政策課		197	197	0.1	0.0	0.1	975			
0314		一般	きらりっぷ普及拡大事業費	・道産食品に対する消費者の信頼確保と北海道ブランドの向上を図るため、「道産食品独自認証制度(きらりっぷ)」の普及拡大を推進	食品政策課		333	333	0.5	0.1	0.6	5,003			
0316		事務	安全・安心な食づくりに関する事務	・食の安全・安心確保に向けた情報収集・提供、食づくり名人の登録、愛食レストラン、愛食大使、イベント等への各種後援などの事務	食品政策課		0	0	1.8	3.4	5.2	40,477			
0317	0605 0610	事務	食品政策課総合調整等業務	・道議会事務、予算・決算事務、職員の服務・研修などの事務	食品政策課		0	0	1.9	3.5	5.4	42,034			
計							0	50,463	4,503	9.8	10.7	20.5			

